



棗校だより

令和7年度 7月号 No.3 6月15日発行
福井市棗小中学校 福井市石新保町12-32 TEL 85-1099

校長 藤木洋子

○ 小学6年生、中学3年生の修学旅行実施

中学3年生が関東方面へ、小学6年生が関西方面へ修学旅行に行きました。どちらも一日目は雨が降ったのですが、後半は天候に恵まれ、子どもたちは充実した活動を行うことができました。

小学校の修学旅行は、バス代高騰により6年生6人で割ると高額になるため、はじめて電車や路線バスを利用しての移動でした。自分で電車の切符を購入したり、路線バスで両替をして運賃を払ったりして、普段できない経験を行うことができました。

中学3年生は、国会議事堂で棗校出身の官僚の方にお世話いただき、通常入ることのできない特別室に入らせていただきました。貴重な経験を通して、これからの進路学習に生かしてほしいと願います。

どちらも棗っ子の良さを発揮し、全員が元気に仲良く活動できたこと、たくさんの方々と礼儀正しく接することができたことは、たいへん素晴らしかったと思います。昨今の物価高により修学旅行費も高騰していますが、保護者の皆様のご理解をいただき実施できましたこと、感謝しております。

○ 中学校連合音楽会で歌声披露

中学校の連合音楽会では、3学年全員でフェニックス・プラザ「エルピス大ホール」で歌声を響かせました。他校の先生たちから、「棗の子たちは、素直で優しい心がありますね。歌声から感じられて、涙が出そうだった。」と褒められました。生徒たちの頑張りが認められ、歌から気持ちが伝わったことを本当に嬉しく思いました。

○ あいさつの大切さ

先日、私の元同僚の教員からこんな電話がありました。「うちの夫が通勤中に、棗中の生徒さんが自転車を降りて横断歩道を渡り、待ってくれた車の運転手に深々と頭を下げているのを見る。朝から爽やかな気分で仕事に向かうことができ喜んで。」という内容でした。棗の生徒たちが普通にしている行動が、見知らぬ人の力になっていることを知り、私もたいへん嬉しく思いました。

同じ日に、地域の方から「登校中の児童に“おはよう”と声をかけても挨拶が返ってこなくて寂しく思います」というお電話をいただきました。棗地区の皆さんで子どもたちを育てようという思いに触れ、たいへん有り難く思いました。小学校の集会で、挨拶の大切さを話しました。世界に約7,000の言語があり、すべてに挨拶の言葉があること。あいさつに「今日もよろしく」「何かあったら助けてください」などの思いが含まれていることを伝えました。

これからも、地域の方や子どもたちに関わってくださる方からの有り難い言葉を児童生徒に伝え、子どもたちが安全に安心して過ごせる学校にしていきたいと思います。

小学校

新年度スタートから2ヶ月。それぞれの学年や学級のカラーが出た活動が日々行われています。これから夏に向けても、まだまだいろいろなことに挑戦していく子どもたちです。



1・2年生 野菜づくりスタート!

さつまいも、カボチャ、トマトなどいろいろな野菜の苗を植え、大きく育つことを楽しみに、毎朝、水やりを頑張っています。



3・4年生 教育実習生と!

6月9日から3週間、3、4年生の学級に本校の卒業生が教育実習に入っています。子どもたちにとっても、実習生にとっても、よい出会い、学びの機会になることを期待しています。



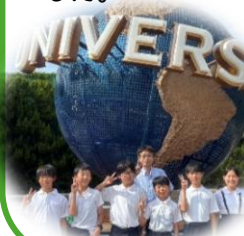
5年生 宿泊学習(5月13, 14日)

芦原青年の家で1泊2日の宿泊学習を行いました。カヌー体験や飯ごう炊飯など、全員が協力し合い活動しました。



6年生 修学旅行(6月11, 12日)

6年生は、京都・奈良・大阪への修学旅行は全行程、電車で移動という大きな経験をしました。



中学校

校外学習や修学旅行、連合音楽会など、学校行事を通して多くのことを学んでいます。もうすぐ中体連夏季大会も始まります。応援よろしくお願いいたします。

修学旅行に行ってきました



国会議事堂見学では、巣校出身の官僚の方に話を聞くことができました。



連合音楽会で「花がほほえむ」を歌いました。多くの人から「感動しました」との言葉をいただきました。